

Apple Pencilで自分のイメージする描画スタイルを

3年生の美術の授業です。ブックのEveryone Can Createのシリーズ「スケッチ」のポートレートの章を参考にしながら自画像を描きます。この授業では「自分が表したいイメージに基づいて、描画スタイルを決め出し、アプリの機能を活かしながら表現を工夫して描こう」という学習に取り組みました。

Tayasui Sketches Schoolを使うと、スケッチ、絵、イラストを簡単に描くことができます。



①前時までに自分の主題を決め出し、それに基づいて表情や大きさなどを工夫して写真を撮り合いました。

生徒がiPadで描くにあたり描画方法のいくつかの例が先生から示されました。



②写真を取り込んで、不透明度を下げると画像をトレースしやすくなります。鉛筆やペンを使って実際に描きながら、自分の表現したいイメージに近づくために描画スタイルを決め出していきます。



③表情の作り方や姿勢、明暗に工夫を加えています。何が自分を表現するのに合うのかを考えいろいろな表現を試しました。先生から「どんなイメージにしたいかによってペンの種類が変わっていく」といったアドバイスがされていました。



④お互いの表現方法を見たり、自分の描いた絵についてコメントをもらったりしながら作業をおこなっています。友だちの授業の取り組みに対して「みんな自分の写真と向き合って真剣に頑張ってる集中してとってもいいと思った」という授業の振り返りを書いていました。

西箕輪中学校 3年 加藤博美 先生の実践をもとに推進センターで編集させていただきました



Everyoneone Can Createシリーズ



Apple BooksのEveryone Can Createのシリーズは無料で利用できるブックです。「写真」「音楽」「ビデオ」「スケッチ」と教師用ガイドが揃っています。先生が授業の解説のために活用することもできます。また、児童生徒のiPadにインストールしておけば、生徒自身が興味を持って活用します。

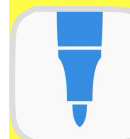
今回の加藤先生の授業では「スケッチ」のポートレートの章を活用していました。Tayasui Sketches Schoolというアプリを使って簡単に絵を描く方法が解説されています。



ポートレートの章ではアクティビティとして、「顔を分割してとらえる」「顔をトレースする」「いろいろな画風を試す」と展開し、最後に「ポートレートを描こう」というプロジェクトが準備されています。

他の章では「観察スケッチ」「風景画」「静物画」「ロゴデザイン」などがあり学校生活の中で活用できるものばかりです。

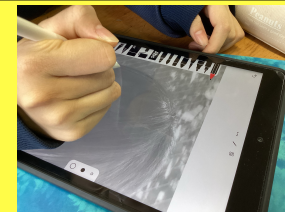
児童生徒も先生方も簡単にダウンロードできるようになっています。



Tayasui Sketches School と Apple Pencil

ブックの「スケッチ」ではTayasui Sketches Schoolというアプリを使って簡単に絵を描く方法が解説されています。Apple Pencilを使うことで様々な表現方法を実現することができます。

生徒は様々な描画スタイルを試した後で自分の表現したいイメージに基づいて自画像を完成させていきます。



伊那市では、「学校教育情報化ビジョン2021」をもとに、iPadを導入して「ICT活用教育」を推進しています。

伝統的
学びを深めるICT活用

先進的
学びに導くICT活用

「Society5.0」時代の
学びを支える教員

個別最適な学び・対話的学び
創造性を育む学びの実現